

第69回 簿記実務検定第2級試験問題

商業簿記

(制限時間 1時間30分)

1

次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、商品に関する勘定は3分法によること。

- さきに、福岡商店から受け取っていた船荷証券 ¥672,000 を、本日、徳島商店に ¥840,000 で売り渡し、代金は同店振り出しの約束手形で受け取った。
- 大分商店から注文のあった商品 ¥2,000,000 を発送し、代金のうち ¥1,500,000 については、取引銀行で荷為替を取り組み、割引料を差し引かれた手取金 ¥1,491,000 は当座預金とした。なお、残額は掛けとした。
- 長崎商店の本店は、平戸支店から島原支店の得意先松浦商店に対する売掛金 ¥80,000 を、現金で回収したとの通知を受けた。ただし、本店集中計算制度を採用している。(本店の仕訳)
- 宮崎商事株式会社は、設立にさいし、株式350株を1株につき ¥180,000 で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、1株の払込金額のうち ¥70,000 は資本金に計上しないこととした。なお、設立に要した諸費用 ¥870,000 は小切手を振り出して支払い、全額を繰延資産として処理した。
- 九州産業株式会社は、決算の結果、当期純利益 ¥3,260,000 を計上した。
- 佐賀物産株式会社は、割引発行した社債 額面総額 ¥60,000,000 (帳簿価額 ¥59,280,000) のうち、額面 ¥20,000,000 を @¥98 で小切手を振り出して買入償還した。
- 博多商事株式会社は、決算にあたり、当期の法人税・住民税および事業税の合計額 ¥1,400,000 を計上した。ただし、仮払法人税等勘定の残高が ¥750,000 ある。

2

次の取引を特殊仕訳帳としての仕入帳に記入し、総勘定元帳と買掛金元帳に転記しなさい。

- ただし、
- 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
 - 特殊仕訳帳は、月末に締め切るものとする。
 - すでに記入してある取引も転記すること。
 - 総勘定元帳・買掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
 - ほかに特殊仕訳帳として、当座預金出納帳・売上帳を用いている。

取引

- 1月9日 香川商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。
 B品 260個 @¥750 ¥195,000
- 21日 香川商店から仕入れた上記商品のうちに品違いがあったので、次のとおり返品した。
 B品 40個 @¥750 ¥30,000
- 25日 高知商店から次の商品を仕入れ、代金は小切手#7を振り出して支払った。
 C品 390個 @¥600 ¥234,000

3

次の各問いに答えなさい。

- (1) 熊本商店(個人企業)の下記の仕訳帳と資料によって、期間中の次の金額を計算しなさい。

- a. 仕入高 b. 引出金

仕 訳 帳					資 料	
平成 ○年	摘 要	元 丁	借 方	貸 方		
	決算仕訳				i	期首の資産総額 ¥1,950,000 (うち商品 ¥450,000)
12	(売上)		4,850,000		ii	期首の負債総額 ¥690,000
	(損益) 諸口	省	()	4,850,000	iii	期末の資産総額 ¥2,465,000 (うち商品 ¥530,000)
	(仕入)			()	iv	期末の負債総額 ¥870,000
	(給料)			720,000	v	期間中の追加元入額 ¥130,000
	(減価償却費)			80,000	vi	期間中の引出金 ¥
	(雑費)	略		46,000		
	(損益)		290,000			
	(資本金)			290,000		

- (2) 鹿児島商店(個人企業)の本店および支店の貸借対照表と未達事項によって、次の金額を計算しなさい。

- a. 支店貸借対照表の本店(Aの金額) b. 本支店合併の商品 c. 本支店合併の当期純利益

本店 貸借対照表				支店 貸借対照表			
平成○年/2月31日				平成○年/2月31日			
資 産	金 額	負債・純資産	金 額	資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現金	630,000	支払手形	590,000	現金	290,000	支払手形	()
当座預金	2,280,000	買掛金	1,350,000	当座預金	480,000	買掛金	830,000
売掛金	1,470,000	資本金	4,700,000	売掛金	650,000	本店	(A)
商品	790,000	当期純利益	980,000	商品	310,000	当期純利益	460,000
備品	1,600,000			備品	760,000		
支店	850,000						
	7,620,000		7,620,000		2,490,000		2,490,000

未達事項

- 本店から支店に発送した商品 ¥60,000 (原価) が、支店に未達である。
- 支店で本店の買掛金 ¥90,000 を支払ったが、この通知が本店に未達である。
- 本店で支店受取分の手数料 ¥80,000 を受け取ったが、この通知が支店に未達である。

4

四国商店の1月22日の略式の伝票から、仕訳集計表(日計表)を作成しなさい。ただし、次の取引について、必要な伝票に記入したうえで集計すること。なお、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。

取引

1月22日 高松商店から商品 ¥270,000 を仕入れ、代金のうち ¥150,000 は約束手形#4を振り出して支払い、残額は現金で支払った。

入金伝票		出金伝票		売上传票	
売掛金	218,000	当座預金	325,000	鳴門商店	280,000
当座預金	249,000	雑費	6,000	阿南商店	370,000
売掛金	170,000	買掛金	130,000	三好商店(値引)	9,000
受取手数料	16,000	通信費	38,000	坂出商店	175,000
() ()		() ()		松山商店	230,000
				() ()	
振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)		仕入伝票	
買掛金	154,000	支払手形	154,000	今治商店	148,000
受取手形	327,000	売掛金	327,000	西条商店(値引)	7,000
雑費	18,000	当座預金	18,000	宇和島商店	190,000
当座預金	34,000	受取手数料	34,000	南国商店(戻し)	10,000
() ()		() ()		土佐商店	250,000
				() ()	

5

沖縄商店(個人企業 決算年/回 12月31日)の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。

- 付記事項の仕訳を示しなさい。
- 決算整理仕訳を示しなさい。ただし、繰り延べおよび見越しの勘定を用いること。
- 損益計算書(2区分)および貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高

現金	¥ 804,000	当座預金	¥ 1,709,000	受取手形	¥ 1,640,000
売掛金	2,280,000	貸倒引当金	41,000	有価証券	720,000
繰越商品	1,420,000	貸付金	1,500,000	備品	1,380,000
備品減価償却累計額	230,000	支払手形	1,290,000	買掛金	2,478,000
従業員預り金	135,000	資本金	6,000,000	売上	15,800,000
受取手数料	163,000	受取利息	45,000	仕入	11,650,000
給料	2,100,000	支払家賃	732,000	保険料	102,000
消耗品費	105,000	雑費	40,000		

付記事項

- かねて受け取っていた那覇商店振り出しの約束手形 ¥160,000 が、期日に当座預金に入金されていたが、記帳していなかった。

決算整理事項

- 期末商品棚卸高 ¥1,250,000
- 貸倒引当金 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ5%とする。ただし、貸倒引当金の残高は全額戻し入れること。
- 備品減価償却高 取得原価 ¥1,380,000 残存価額は零(0) 耐用年数は6年とし、定額法により減価償却費 ¥230,000 を計上する。
- 有価証券評価高 有価証券は、売買を目的として保有する糸満商事株式会社の株式15株(帳簿価額 @ ¥48,000)であり、1株につき ¥42,000 に評価替えする。
- 消耗品未使用高 ¥ 27,000
- 手数料未収高 ¥ 18,000
- 利息前受高 受取利息 ¥45,000 は、貸付金に対する1年分の利息であり、8か月分の前受高を次期に繰り延べる。

1

	借方		貸方
a			
b			
c			
d			
e			
f			
g			

2

		仕入帳		2	
平成 ○年	勘定科目	摘要	平 子	買掛金	諸口
		前ページから		958,000	470,000
1/15	支払手形	愛媛商店	約手		350,000
	買掛金		掛け	110,000	
		A品 500個 @¥920			

総勘定元帳

当座預金		2
1/1 前期繰越	1,650,000	
支払手形		13
	1/1 前期繰越 830,000	
買掛金		14
	1/1 前期繰越 670,000	
仕入		26
買掛金元帳		
愛媛商店		1
	1/1 前月繰越 240,000	
香川商店		2
	1/1 前月繰越 310,000	

3

(1)	a	仕入高 ¥	b	引出金 ¥		
(2)	a	支店貸借対照表の 本店(アの金額) ¥	b	本支店合併の 商 品 ¥	c	本支店合併の 当期純利益 ¥

試験場校	受験番号

2級の1得点

4

仕 訳 集 計 表

平成〇年/月22日

借 方	平	勘 定 科 目	平	貸 方
		現 金		
		当 座 預 金		
		受 取 手 形 金		
		売 掛 金		
		支 払 手 形 金		
		買 掛 金		
		売 上		
		受 取 手 数 料		
		仕 入 費		
		通 信 費		
		雑 費		

5

(1)

	借 方	貸 方
①		

(2)

	借 方	貸 方
a		
b		
c		

	借 方	貸 方
d		
e		
f		
g		

(3) 損 益 計 算 書

沖縄商店 平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで

費 用	金 額	取 益	金 額
期首商品棚卸高		売 上 高	
仕 入 高		期末商品棚卸高	
売上総利益			
給 料	()		
()		受取手数料	
()		受取利息	
支払家賃	()		
保険料			
消耗品費			
雑 費			
()			
()			

貸 借 対 照 表

沖縄商店 平成〇年/2月3/日

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金		支 払 手 形	
当座預金		買 掛 金	
受取手形()		従業員預り金	
貸倒引当金()		()	
売 掛 金 ()		資 本 金	
貸倒引当金()		()	
有価証券			
商 品			
()			
貸付金			
()			
備 品 ()			
減価償却累計額()			

試 験 場 校	受 験 番 号

2級の2得点

総 得 点

1

	借 方	貸 方
a	受取手形 840,000 仕入 672,000 (または 受取手形 840,000 仕入 672,000)	(未着商品)売上 840,000 未着商品 672,000 (未着品)売上 840,000 未着品 672,000)
b	当座預金 1,491,000 手形売却損 9,000 売掛金 500,000	売上 2,000,000
c	平戸支店 80,000	島原支店 80,000
d	当座預金 63,000,000 創立費 870,000	資本金 38,500,000 資本準備金 24,500,000 当座預金 870,000
e	損益 3,260,000	繰越利益剰余金 3,260,000
f	社債 19,760,000	当座預金 19,600,000 社債償還益 160,000
g	法人税等 1,400,000	仮払法人税等 750,000 未払法人税等 650,000

2

平成〇年	勘定科目	摘 要	円	買掛金	諸 口
		前ページから		958,000	470,000
1/15	支払手形	愛媛商店 約手	13		350,000
	買掛金	掛 け	買1	110,000	
		A品 500個 @¥920			
19	買掛金	香川商店 掛 け	買2	195,000	
		B品 260個 @¥750			
21	買掛金	香川商店 掛け戻し	買2	30,000	
		B品 40個 @¥750			
25	当座預金	高知商店 小切手	✓		234,000
		C品 390個 @¥600			
				1,263,000	1,054,000
31			14		1,263,000
〃		総仕入高	26		2,317,000
〃		仕入戻し高	14/26		30,000
		純仕入高			2,287,000

総 勘 定 元 帳

当 座 預 金		2
1/1 前期繰越	1,650,000	
支 払 手 形		13
1/1 前期繰越	830,000	
15	350,000	
買 掛 金		14
1/31	30,000	1/1 前期繰越 670,000
		31 1,263,000
仕 入		26
1/31	2,317,000	1/31 30,000
買 掛 金 元 帳		
愛 媛 商 店		
		1
1/1 前月繰越	240,000	
15	110,000	
香 川 商 店		
		2
1/21	30,000	1/1 前月繰越 310,000
		19 195,000

3

(1)	a	仕 入 高	¥ 3,794,000	b	引 出 金	¥ 85,000
(2)	a	支店貸借対照表の 本店(アの金額)	¥ 780,000	b	本支店合併の 商 品	¥ 1,160,000
				c	本支店合併の 当期純利益	¥ 1,520,000

4

仕 訳 集 計 表

平成〇年/月22日

借 方	平	勘 定 科 目	平	貸 方
653,000		現 金		619,000
359,000		当 座 預 金		267,000
327,000		受 取 手 形		
1,055,000		売 掛 金		724,000
		支 払 手 形		304,000
571,000		買 掛 金		858,000
9,000		売 上		1,055,000
		受 取 手 数 料		50,000
858,000		仕 入		17,000
38,000		通 信 費		
24,000		雑 費		
3,894,000				3,894,000

5

(1)

	借 方	貸 方
①	当 座 預 金 160,000	受 取 手 形 160,000

(2)

	借 方	貸 方
a	仕 入 1,420,000	繰 越 商 品 1,420,000
	繰 越 商 品 1,250,000	仕 入 1,250,000
b	貸 倒 引 当 金 41,000	貸 倒 引 当 金 戻 入 41,000
	貸 倒 償 却 188,000	貸 倒 引 当 金 188,000
c	減 価 償 却 費 230,000	備 品 減 価 償 却 累 計 額 230,000

	借 方	貸 方
d	有 価 証 券 評 価 損 90,000	有 価 証 券 90,000
e	消 耗 品 27,000	消 耗 品 費 27,000
f	未 収 手 数 料 18,000	受 取 手 数 料 18,000
g	受 取 利 息 30,000	前 受 利 息 30,000

(3)

損 益 計 算 書

沖縄商店 平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
期首商品棚卸高	1,420,000	売 上 高	15,800,000
仕 入 高	11,650,000	期 末 商 品 棚 卸 高	1,250,000
売上総利益	3,980,000		
	17,050,000		17,050,000
給 料	2,100,000	(売上総利益)	3,980,000
(貸倒償却)	188,000	受 取 手 数 料	181,000
(減価償却費)	230,000	受 取 利 息	15,000
支 払 家 賃	732,000	(貸倒引当金戻入)	41,000
保 険 料	102,000		
消 耗 品 費	78,000		
雑 費	40,000		
(有価証券評価損)	90,000		
(当期純利益)	657,000		
	4,217,000		4,217,000

貸 借 対 照 表

沖縄商店 平成〇年/2月3/日

資 産	金 額	負 債 お よ び 純 資 産	金 額
現 金	804,000	支 払 手 形	1,290,000
当 座 預 金	1,869,000	買 掛 金	2,478,000
受 取 手 形 (1,480,000)		従 業 員 預 り 金	135,000
貸 倒 引 当 金 (74,000)	1,406,000	(前 受 利 息)	30,000
売 掛 金 (2,280,000)		資 本 金	6,000,000
貸 倒 引 当 金 (114,000)	2,166,000	(当 期 純 利 益)	657,000
有 価 証 券	630,000		
商 品	1,250,000		
(消 耗 品)	27,000		
貸 付 金	1,500,000		
(未 収 手 数 料)	18,000		
備 品 (1,380,000)			
減 価 償 却 累 計 額 (460,000)	920,000		
	10,590,000		10,590,000

(貸倒償却は、貸倒引当金繰入でもよい。)